

ちょっと無理して
地域を元気に
地球を元気に

Vol.2

感謝
すべての人々へこころをこめて



SK GROUP



サイコー



SKトレーディング



ステップスナイン



SKホールディングス

【SKグループ】仙台市出身の齋藤孝三氏が1973年12月に古紙回収業「斎孝」を創業（社名は自身の氏名から。2008年に社名を「サイコー」の表記に変更）。廃棄物管理のコーディネートや再生資源卸売を営むSKトレーディング（青葉区）を09年に、古紙リサイクルステーションを運営するステップスナイン（宮城野区）を15年に設立。20年に、各社のリソースを活用した新規事業創出や人材採用を担うSKホールディングス（青葉区）を立ち上げ、グループ化した。SKグループの売上高（24年度末）は98億6000万円の見込み。従業員数（24年度）の内訳はサイコー198人、SKトレーディング35人、ステップスナイン25人、SKホールディングス17人。

古紙回収や機密文書再利用 身近な課題解決 恩返し

SKグループの原点は、中古の小型トラック1台で始めたちり紙交換だった。

1973年12月。現サイコー会長の齋藤孝三氏は脱サラし個人商店として「斎孝（現在はサイコー）」を立ち上げた。「サラリーマンは性に合わず、何か商売をしたい、男として一旗揚げたい」という気持ちで始めた。

仙台市内の馬小屋を改造した住宅を借り、事務所を構えた。高校の後輩らと共に朝から晩まで働き、友人らのついでで取引先を開拓。古紙を回収して問屋に持ち込むと、1日で約1万円、1カ月では20万円〜30万円になった。当時は第1次オイルショックが発生し、古紙価格が高騰していた。

試験が訪れたのは90年代。古紙価格の暴落で同業者の廃業が相次いだ。「相場で左右される状況では安定した経営ができない」（孝三氏）。顧客の理解や協力を得て、古紙の有料回収で難局を乗り切り、逆風にも耐えられる会社体制の構築に尽力した。

お客様の困りごとに 向き合い続ける

現サイコー社長の服部泰子氏は95年に、孝三氏の長男で現SKグループ代表の孝志氏は翌96年に入社した。当時は社員10人ほどの小さな会社で、年間売上高は約2億円。服部氏は経理から人事、イベントまで携わっていた。「お客さまが困っていることを解決した

い、という思いから業務が広がった」と振り返る。

個人情報保護意識の高まりを捉えて2003年、サイコーは企業の機密書類を機密保持したままリサイクルするシステムを稼働させた。事業活動と地域貢献を両輪で回す仕組みづくりにも本腰を入れ、10年にはポイント制リサイクルステーションをスタート。スーパーの回収ボックスに新聞や雑誌を持ち込んだ来店者らにポイント還元した。

創業から50年余り。今では約3500社の顧客を抱えるサイコーを軸に、廃棄物管理のコーディネートやリサイクルステーションの運営、他企業との共創などを多角的に展開する。

孝志氏は「地域の方々やお客さまに支えられ課題に向き合い続けてきた」と感謝。「課題をビジネスの一部とし事業として成り立たせることで、継続的な解決策を提供できる」と話す。

組織改革と 働きやすい環境づくり

50年先を見据えた人づくりや価値観の共有も大切に行っている。孝志氏は12年に孝三氏から家業のバトンを継ぐと、幹部教育や組織改革に本格的に着手。休暇日数の増加や若手と中堅による定期面談、社員の行動を賞賛する仕組みなど働きやすい環境づくりを進める。

23年度のサイコーの離職率は約4%で、09年度の約15%から大幅に低下。SK



グループ全体でも約6%弱にとどまる。18年には、社会課題解決や魅力的な職場づくりに向けた積極的な地元の中小企業を表彰する「仙台四方（しほ）よし」企業大賞に選ばれ、対外的にも評価を高めている。

24年4月、創業家以外で初めてサイコーの社長に就いた服部氏は語る。「小さな階段を上りながら成長を実感できることが大事。その結果、失敗してもいい。少しずつでも前に進み、社員と一緒に成長していきたい」一人一人の「ちよつと無理した」挑戦が、企業と地域の未来をつくる。それが、SKグループの組織づくりの根底にある考え方だ。

スーパーに設置されたリサイクルステーションの会員サイト。アプリ登録で楽しくお得に「ポイ活」ができます。

スーパーに資源物を持ち込みリサイクルポイントが貯まると、割引券や電子マネーなどと交換することができます。さらに会員サイトに登録するとアプリ上にコインが貯まり、リサイクルポイントや電子マネーに交換できます。ぐるっとポイントはアプリで簡単に会員登録できます。※詳しくは、左記の二次元コードからご覧ください。



grt-pon.jp



steps9.co.jp

創業当時の
齋藤孝三 会長



勝手に

今日3月15日は「サイコー」の日

SKグループの新規事業②